

環境に配慮したシカ侵入防止柵の開発

【研究概要】

都内において、植栽木をシカの被害から守るために設置されたシカ侵入防止柵の多くは、自然に還らないプラスチックなどの素材が使われており、撤去する際、地下部に埋まった支柱やネットの除去が極めて困難なため、林地に残ってしまう問題がある。この解決に向けて、自然に還る環境に配慮した素材のシカ柵を開発することを目的に試験を実施した。その中で今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 線径 0.7mm、網目 40mm の亜鉛メッキの亀甲金網の重量は、従来の 23% と軽量でタヌキなど野生動物の噛み切りを防止できるが、地際部から野生動物に侵入されたため、従来の 46% の重量である線径 1.0mm の亀甲金網を推奨する。